



問い合わせ先
大豊町食生活改善推進協議会
(住民課健康づくり班)

■南海トラフ大地震は、今後30年以内に70～80%の確率で発生すると言われており最大規模の地震や津波となった場合には、高知県下の死者数は約4万2千人、全壊・焼失建物棟数約15万3千棟と甚大な被害が予想されています。本町も町内のほとんどで震度6強～7が予想されており、急傾斜地崩壊を原因とする被害が想定されています。

■減災のためには、耐震化や防災教育・訓練などの備えをしておけば、ある程度の効果が期待できます。また、災害発生時には命を守ることを最優先に行動しますが、やはり日ごろの備えが大切です。特に、食の備えは高齢者や乳幼児の有無など、家族構成により必要な物が違います。各家庭で最低3日分、できれば7日分の備蓄をし、時々在庫や賞味期限をチェックして、無駄のないサイクル保存に努めましょう。

さば缶オムレツ ～備蓄品を使って～

作り方

- ①鯖の水煮缶は、汁を軽く切ってほぐしておく。
- ②ボールに卵を溶きほぐし、材料を全て加えてよく混ぜ合わせる。
- ③熱したフライパンに油を薄くしき、生地を広げて両面をこんがりと焼く。(目安は中火で片面3～4分程度)
- ④食べやすい大きさに切り分け、季節の野菜と共に盛りつける。



材料＜2名分＞

- さば水煮缶……………70g
- 卵(M寸)……………1½個
- お好み焼き粉……………15g
- きざみネギ……………10g
- サラダ油……………適量
- 季節の野菜……………適量

1人分の栄養価 エネルギー…160kcal 脂質…0.7g たんぱく質…12.9g 鉄…0.7mg カルシウム…122mg 塩分…0.2g

交通安全ニュース



シートベルト全席着用徹底！

交通事故死者のうち、シートベルトをしていれば、その多くが、命は助かったであろうと見られることをご存知でしょうか。

座席に座ったら、まずシートベルトを着用することを徹底しましょう。

シートベルトを着用することは本人の自覚はもちろんですが、ハンドルを握る運転手さんが着用の一声をかけることで、シートベルトが同乗者の命綱となります。

また違反で不本意な結果を招くことも防げます。

みんなで意識向上を！

高知県東警察署本山警察庁舎
高齢者交通安全アドバイザー 上池
TEL 0887-76-0110

達成!!

無事故・無違反

第11回 無事故・無違反ドライバーズコンテスト
【セーフティーロード103(土佐)】

県下において令和元年9月20日から12月31日まで実施されていた見出しの競技には、本山庁舎管内から62チームが参加され、58チームが達成されました。(達成率93.5%)

県警本部においての抽選会で当選されたチームには、後日景品が渡されました。

ご協力ありがとうございました



運転免許証

住所変更はお早めに

届 出 場 所：運転免許センターまたは警察署
受 付 日：月～金曜日(土日祝日は除く)
※運転免許センターのみ日曜日受付
受 付 時 間：運転免許センター
午前10時～11時30分
午後2時～3時30分
警察署
午前8時30分～午後4時30分

【県下】
令和元年元旦～
令和2年1月26日まで

四輪車乗車中の死者16人
●シートベルト非着用9人
※シートベルトをしていれば8人は助かったと見られる。

教育委員会だより

模擬議会

12月18日(水)に、中学3年生による「模擬議会」が開かれました。

総合的な学習の時間を中心に、大豊町のことについて、小学校・中学校と学習してきた中で、出てきた課題について、町の取り組みなどを質問しました。




大豊町では、小学校・中学校で、「おおとよを心に刻む教育」に取り組んでいます。

中学校3年生が、自分たちの町のこれからについて、議会という特別の場で、自分の意見を述べる姿は堂々としており、とてもかっこよかったです。



3年 秋山 果穂

2年生のときは、模擬議会を見てもあまりよくわかっていませんでした。けれど、実際に体験してみて、ちょっと難しいところもあったけれど私たちが質問・要求したことに対して町がさそく動いてくれていることもわかったし、私たちが言ったことについて考えてくれているので、この町をもっとよくできると思いました。



3年 高橋 憂花

今までは、大豊町は高齢者が多いことは知っていたけれど、そこからほかに考えたりはしていなかったで、「模擬議会」で提言する案が出るか不安だったけれど、1・2年生で習ったことや知っていることを生かして、たくさん案が出せたと思いました。大豊町では、期間を決めて住んでもらったりして、移住しやすい街を作っていることがわかりました。

私は、大豊町のことにあまり知らないと思っていたけれど、結構知っていることもあったし、大豊町の課題についてより深く考えることができたと思っています。

英語教育については、海外研修やヘリパー校生との交流のほかにも、「英語で討論すること」を目標にしていって、実践的な学習をするようにしていることがわかりました。

